



たてしな

議長に滝沢寿美雄氏 副議長に小池美佐江氏を選出 任期後半の議会構成決まる

4月22日に開かれた臨時議会において、正副議長の改選を行いました。議長に滝沢寿美雄議員が、副議長に小池美佐江議員が、それぞれ投票により選ばれました。また、平成25年5月30日から平成27年4月29日までの任期となる、常任委員会や一部事務組合議会議員等も決定しました。

今回の「議会だより」には、新しい議会構成及び議員のあいさつ文を掲載します。



副議長
小池 美佐江



議長
滝沢 寿美雄

就任のあいさつ

新緑が目にしみる好季節を迎え、町民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

三期目の折り返しを迎え、この4月22日の議会構成で再び議長と言う事で再任をいただきました。2年間を振り返りますと、議会改革を中心に少しずつではありますが、改革が進んできたような気がいたします。これからも議員一人一人のスキルアップを図りながら内面の改革も図られたいと思っております。

様は町民の皆様である」その事を念頭に、議員一同しっかりと議会活動をやらせて頂きます。

国では地域主権型道州制の審議がされております。今の仕組みが良いとは思ってはいませんが、果して効率だけで地方の個性を奪って良いのでしょうか。しっかりと見守っていきたいと思います。

最後にになりましたが、町民の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。代えさせていただきます。

先人は、こぶしの花芽の数具合によってその年の気候を占ったという。今年花芽が一杯につき見事に咲いた。梅も、桜も、水仙も、チューリップも、一緒に咲き競い春を愛でている。その矢先、名残雪軍団の襲撃に唾然とした。そんな中、臨時会に於いて副議長の重責に選任された。緊張感と責任を身に染みて感じ、職務を全うする為、全力を尽くす所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。

立科町の発展、住みよい町づくりに、町民の声に耳を傾ける議会として頑張りたいと思います。

念願でありました国道254字山バイパス1.6キロの起工式が2月に行われ、着手された事は嬉しい事であり、関係各位はもちろんの事、用地を提供してくれた方々に厚くお礼申し上げます。「みんなの協力で町はつくられる」と改めて感じました。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

議会構成

議長 滝沢寿美雄
副議長 小池美佐江

常任委員会

委員 箕輪 修二
委員 田中 三江
委員 小宮山正儀



第一回 総務経済常任委員会

◎社会文教観光常任委員会
町民課、観光課、教育委員会の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

委員長 土屋 春江
副委員長 森本 信明
委員 滝沢寿美雄
委員 宮下 典幸
委員 山浦 妙子
委員 橋本 昭



第一回 社会文教観光常任委員会

◎総務経済常任委員会
総務課、町づくり推進課、農林課、建設課、会計室、議会事務局の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

委員長 西藤 努
副委員長 榎本 真弓
委員 小池美佐江

◎議会運営委員会
議会の運営について、調査、検討をします。

委員長 橋本 昭
副委員長 田中 三江
委員 西藤 努
委員 土屋 春江

◎団体・協議会委員等

◎議会だより編集委員会
委員長 森本 信明
副委員長 榎本 真弓
委員 宮下 典幸
委員 山浦 妙子
委員 田中 三江
委員 小宮山正儀

一部事務組合

◎佐久広域連合

議員 滝沢寿美雄
議員 箕輪 修二

◎北佐久郡老人福祉施設組合
議員 滝沢寿美雄
議員 土屋 春江

◎川西保健衛生施設組合
議員 宮下 典幸
議員 橋本 昭

◎白樺湖下水道組合
議員 滝沢寿美雄
議員 西藤 努
議員 小宮山正儀
議員 榎本 真弓

田中 三江
西藤 努
土屋 春江
森本 信明

◎立科町土地開発公社
監事
小宮山正儀
榎本 真弓

◎消防委員会
委員 田中 三江
委員 土屋 春江
委員 小宮山正儀
委員 森本 信明

◎白樺湖下水道組合監査委員
小池美佐江

◎川西保健衛生組合議長・副議長指名推薦選人
土屋 春江

◎川西保健衛生施設組合議会運営委員
土屋 春江

◎立科町土地開発公社理事
滝沢寿美雄
小池美佐江
宮下 典幸
箕輪 修二
山浦 妙子
橋本 昭

◎国保運営協議会委員
橋本 昭
土屋 春江
森本 信明

◎開発審議会委員
滝沢寿美雄
西藤 努

榎本 真弓

(議席一番)



この度の委員会改正において、総務経済委員会の副委員長を務めさせて頂くことになりました。行政の中核を所管する委員会が活発にそして円滑な運営となりますよう、委員長を支え誠心誠意努めて参ります。議会だより委員会は、継続し副委員長として取り組んでいきます。読みやすい誌面構成や記事の選別など、より一層伝わる議会だよりを目指し編集に取り組みで参ります。議員活動の2年間は町民の皆様の声を行政に反映できるように積極的に発言・提案して参りました。これからの真摯な姿勢で、現場第一を指針に懸命に活動していく決意です。

森本 信明

(議席二番)



立科の春。新緑の野山と水張りの田んぼは陽に照らされ輝き、人と自然が躍動しています。新人議員として、2年が過ぎ、折り返し点を迎えました。この間、総務経済常任委員会に所属するなどし、財政・町づくり・建設・農業・商工・観光事業等に意見を述べ、立科町の活性化に努めてまいりました。今回、議会構成の改選にあたり、観光課を所管替えした「社会文教観光常任委員会」に所属し、新たな行政分野に携わってまいります。立科町が「人と自然が、より輝きを増す」ために、頑張ります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

小宮山正儀

(議席三番)



東日本大震災、長野県北西部地震からはや2年が過ぎました。立科町でも、地域防災計画の策定が進んでいる中で総務経済委員、また消防委員にたずさわり地域のあり方など色々勉強、経験させて頂きました。また後半の2年間も、総務経済委員として立科町の更なる発展の推進を図ります。私自身の掲げた「立科を元氣」「自立は全住民で」を柱に、町民皆様と一丸となり町の活性化のために全力で邁進する所存でありますのでよろしくお願い致します。

土屋 春江

(議席四番)



子供たちをはぐくむ統合保育園「たてしな保育園」が誕生。地域の利用者様に今まで以上に信頼される施設を目指し社会福祉法人「ハートフルケアたてしな」が発足、4月より其々スタート致しました。2年間、総務経済常任委員会委員長を務めさせて頂いたとき、立科町の農業・観光・商工業等活性化の為に全力で取り組んできました。残りの2年間は、社会文教観光常任委員会の委員を務めさせて頂くことになりました。観光が総務から社文に移管になり、福祉・教育・観光となり、全力で取り組む決意です。今まで通り皆様の意見要望をお聞かせください。

西藤 努

(議席五番)



前期2年間、議会運営委員長として、予算特別委員会、議会報告会等、開かれた議会を目指し、自らの創意工夫と、町民皆さんとの協調の下に、町づくりを推進していくものと考え、鋭意努力を重ねて参りました。後期2年間は総務経済委員長として、重責を担わせて頂くことになりました。急速に進む少子高齢化は大きな課題であり、常に厳しい状況下にあります。ここに暮らす満足度、大切にされていると感じる暮らしの享受に向けた生活基盤の確立は重要です。経済は暮らしであり、今後、福祉、教育、農林業等諸施策を通じ、その実現に向け総務経済委員会に於いて活動に邁進致します。

田中 三江

(議席六番)



今年は寒暖の差が激しく、桜が満開の上大雪と異常気象には悩まされますが、豊穡の秋が迎えられる事を祈ります。議員として二期目の後半を迎えました。「町民の皆さんの声を聞く」これが私の仕事としっかり認識し、後半を全力疾走していく所存です。国政も家庭に直結する課題が多く消費税の導入検討・国保運営を都道府県に移管を検討・年金支給の年齢引き上げなど不安もありますが、これまでの経験を活かし、自立を目指す当町は堅実運営されていきますようチェック機能である議会の本質をしっかりと見極め、まい進いたして参りますのでよろしくお願いたします。



あなたも— 議会を傍聴してみませんか

—次回の定例会は 6月6日からの 予定です。—

橋本 昭

(議席七番)



任期後半2年は、社会文教観光委員として、住民サービス、町民福祉、環境、立科教育等について、初心に戻り、町民の立場に立って、現実を直視し、課題を認識し、新たな角度から取り組む所存です。観光部門については、白樺高原を次世代に継げることが出来るか、今まさに、何をなすべし、何が出来るかを問題提起し、将来への道筋を見出すよう努力してまいります。議会運営委員としては、議会が何を行っているかが、町民おひとりお一人に伝わる開かれた議会となるよう、日々改革の志を持ち取り組んでまいります。

山浦 妙子

(議席八番)



いつも御世話様です。暮らしも景気も破壊する無謀な消費税の増税計画。社会保障の大改悪は負担増と生活不安の増大、貧困と格差等、景気を悪化させ、社会不安を広げています。国のこのような政策の防波堤となる立科町議会に町民の皆さんの願いや要求を誠実に運びます。二期目後半の2年間、引き続き社会文教観光委員会にて御世話になります。子ども達のはじけるような笑顔に満ちた町。高齢者がお互いに気づかいながら安心して住み続けられる地域づくり等、当たり前の幸せが保障されるような、そういう社会の実現に向けて力を尽くします。どうぞよろしく願います。

箕輪 修二

(議席九番)



風薫る新緑の美しい季節となりました。三期目、2年が経過しての改選で、佐久広域議会議員と立科町監査委員を引続き務めさせて頂き、常任委員会が「総務経済」に変わりました。今、国では原発事故は忘れ去られたようにアベノミクスによるデフレ脱却、円安、景気回復、どさくさによる九六条改憲へと浮かれムードに浸っておりますが、ロシア・中国・韓国との領土問題の行方はどうなるのか、又自治体にとって重要な道州制移行の動向等々目を離せません。そんな中、立科町の方向づけを間違わないように山積する課題に真剣に取り組んでゆきます。

宮下 典幸

(議席十番)



新緑が目にも染みる季節となりました。町民皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。早いもので、改選後2年が経過致しました。後半はハートフルが町から離れ、観光課が入った新たな社会文教観光委員会で活動して参ります。自立を選択した町、背伸びをせず、先人の築き上げて来られた農畜産物、観光等大事にしながら。立科町がお世話になっている方、繋がりのある皆様「農商官民学」と更なる連係を持ち「住んでみたい町」を目指し、皆一体でやる気をだす町づくりに向け頑張って参りますので今後もよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

早くも半期2年が経過しました。12名の議員で町民の皆様の声をお聞きしたいと昨年2月に議会懇談会をもちました。が、出席して頂いた皆様が少ないこと、多くの皆さんに出かけて頂けるよう、検討を重ねて参りますのでよろしくお願い致します。

議会だより編集委員も新体制で臨みますので、皆様のご意見・ご要望などお寄せ頂きたいと思ひます。読みやすい・わかりやすい議会だよりにしていくよう頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

◎議会だより編集委員会

- 委員長 森本 信明
- 副委員長 榎本 真弓
- 委員 宮下 典幸
- 委員 山浦 妙子
- 委員 田中 三江
- 委員 小宮山 正儀

=ご意見・ご感想等をお寄せ下さい=

たてしな議会だより

発行/長野県立科町議会 編集/議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)56-2311 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL http://www.town.tateshina.nagano.jp